

令和6年度 青果物生産販売状況 【6月30日現在】

作物名	重量(kg、本)						販売金額(千円)						単価(円)			生育状況、販売状況
	6年計画	6年6月計画	5年6月実績	6年実績	前年6月対比	6月末計画対比	6年計画	6年6月計画	5年6月実績	6年実績	前年6月対比	6月末計画対比	5年6月実績	6年6月実績	前年実績対比	
山の芋	80,000	0	0	0	—	—	40,000	0	0	0	—	—	—	—	—	定植は5/上より始まり、最終は6/中となった。生育は順調に推移しているが、一部圃場で芽揃いや蔓伸びが悪いところも見られた。早い時期から発病が確認されたため防除を指導。今後は追肥や葉面散布を呼びかける。
アスパラ	95,000	36,750	17,375	18,057	104%	49%	114,600	44,100	30,014	33,485	112%	76%	1,727	1,854	107%	半促成は1週間遅く、路地は1週間早い出荷開始となった。GW明け早々にピークを迎えたが、その後の霜害や強風の影響で出荷量は思うように伸びなかった。茎枯病の病斑が立基始期から見られたため、一斉立茎・集中防除を指導している。販売については全国的な品薄のため、高値で推移した。また、5/下より規格を1cm長く変更し、生産者の収益向上につなげた。
枝豆	202,000	0	0	0	—	—	114,000	0	0	0	—	—	—	—	—	4/24から播種作業開始し、遅霜を考慮しながらの作業となったため若干遅れた。その後順調に推移したが、5/下～6/上の低温により生育が緩慢となった。6/中にはツメクサガやオオタバコガの発生が見られたため、防除を呼び掛けている。
キュウリ	280,000	4,500	4,145	2,215	53%	49%	56,000	900	1,491	718	48%	80%	360	324	90%	ハウスは5/上、路地は5/下より定植が開始され、生育は順調に推移している。アブラムシ等害虫の発生が多く、べと病や灰色カビ病の発生も予想されることから、防除を呼び掛けている。
ネギ	375,000	0	0	0	—	—	105,000	0	0	0	—	—	—	—	—	定植は順調に進み、天候も良好で大きな問題は無かったが、6/下から梅雨に入りべと病の発生が確認されている。一部圃場では排水不良による湿害も見受けられる。今後の気温上昇に向けて軟腐病の防除を徹底するよう呼び掛けている。
大館とんぶり	31,300	0	7,916	0	0%	#DIV/0!	28,170	0	6,332	0	0%	#DIV/0!	800	—	—	4/下より播種作業が開始され、苗の生育は順調に推移した。5/下から定植作業が開始され順調に推移し7/上で終了した。除草剤に加え土寄せを実施し、しっかり除草対策を行っている。
トマト	30,000	1,070	0	0	—	—	8,400	300	0	0	—	—	—	—	—	出荷開始は6/22で、出揃うまで平年よりも1週間ほど遅れている。オオタバコガの発生が早く、灰色カビ病の発生も目立つ。単価については6月末で回復してきている。
シシトウ	7,500	0	106	—	—	—	6,750	0	119	—	—	—	1,123	—	—	4/下より定植が開始され、生育は順調に推移している。6/中より出荷が開始され、単価は堅調に推移している。
カボチャ	20,000	0	0	0	—	—	2,400	0	0	0	—	—	—	—	—	定植は5/上より開始し順調に進み、その後も大きな問題もなく生育は推移しており、病害虫も見受けられない。出荷開始は7/下頃を見込んでいる。
小玉スイカ	20,000	0	0	0	—	—	7,000	0	0	0	—	—	—	—	—	高温乾燥により活着が遅れ、交配も遅れぎみにとなっている。生育不良により欠株が多数みられる。出荷はお盆過ぎまで続く見込み。
スナップエンドウ	9,000	5,000	1,247	1,481	119%	30%	8,730	5,000	1,471	1,600	109%	32%	1,180	1,080	92%	4/上から4/下にかけて定植が行われ、霜の被害もなく生育は概ね順調推移し、昨年より4日早い6/3より出荷開始となり、ピークについても昨年より1週間早まった。6/中から6/下の高温により芯止まりが進んだ。A品の単価は1,000円～1,100円/kgで推移している。
オクラ	4,400	0	0	0	—	—	2,640	0	0	0	—	—	—	—	—	5/下から6/上にかけて播種。アブラムシ等害虫の発生が多く、べと病や灰色カビ病の発生も予想されることから、防除を呼び掛けている。7/下より出荷予定。
その他	—	—	—	—	—	—	19,240	3,816	2,166	2,501	115%	66%	—	—	—	【ウド】 2,025kg、2,141千円 【インゲン】 80kg、73千円 【ほうれん草】 288kg、184千円
そさい計	1,154,200	47,320	30,789	21,753	71%	46%	512,930	54,116	41,593	38,304	92%	71%	—	—	—	
花卉	124,000	12,322	12,190	2,883	24%	23%	19,615	1,910	1,417	412	29%	22%	116	143	123%	(ダリア)生育初期の夜間の低温や曇天・強風により成育は緩慢で、丈不足のまま花芽をつけているため、1番花の出荷量に影響が出ている。また、2024問題の関係で、閑散期の関東への輸送が困難であったことから、今後輸送会社と連携した販売実施する。
菌茸	1,700	350	231	342	148%	98%	1,700	350	225	282	125%	81%	974	825	85%	適切な水かけと風通しを良くし、高温多湿にならないよう管理を徹底する。
りんご	60,000	0	0	0	—	—	12,000	0	0	0	—	—	—	—	—	平年よりも発芽が早まった。低温により中心果の結実不良やサビ果などが見られる。全体的な収量は平年並となる見込み。6月の高温の影響が散見される。
なし	140,000	0	0	0	—	—	34,000	0	0	0	—	—	—	—	—	生育は前進したが、昨年のような被害はなく、結実量は非常に多い。病害虫の発生も見られず、順調に生育している。
合計	1,479,900	59,992	43,210	24,978	58%	42%	580,245	56,376	43,235	38,998	90%	69%	—	—	—	

作物名	羽数・頭数						販売金額(千円)						生育状況、販売状況
	6年計画	6年6月計画	5年6月実績	6年実績	前年6月対比	6月末計画対比	6年計画	6年6月計画	5年6月実績	6年実績	前年6月対比	6月末計画対比	
比内地鶏	158,000	31,000	32,213	32,733	102%	106%	355,500	69,750	86,175	92,157	107%	132%	出荷率、と体重とも良好に推移している。今後は、夏場の暑熱対策を徹底していく。
和牛	50	11	18	14	78%	127%	25,000	5,500	8,552	6,024	70%	110%	4～6月市場の平均単価は511千円で推移しており、前年対比88%となっている。今後は牧場の利用推進と、畜舎の衛生管理の徹底を呼びかける。
産直	—	—	—	—	—	—	267,000	45,700	41,250	36,276	88%	79%	山菜類が早くに店頭に並びましたが、例年春の売上の柱となる前年産果実の繰越が少なく(前年比10%)、また、野菜苗や漬物生産者の減少により厳しい出だしとなっております。現時点での果菜類や果実は比較的、天候に恵まれていることから今後は売上挽回に努めます。
水稲種子	—	—	—	—	—	—	100,000	—	—	—	—	—	契約数量確保に向けて、概ね順調に推移しており採種圃での病害虫は無く、生育は例年より進んでいる。周辺農家で育苗段階にバカ苗が見受けられ、ハウスでの抜き取りを実施したが、本田でも少量見受けられ、部会員全員で抜き取りを実施。今後も病害虫防除と倒伏防止を呼び掛ける。